

子育て応援券事業の 検証結果に関する報告書

平成 23 年 8 月

杉並区

「子育て応援券」事業は、用途を子育て支援サービスに限定し、サービス利用を誘導することで、子育て家庭が孤立しないように地域との関わりを促すことや、地域にサービスを増やし、子育てを応援するまちをつくることを目的として、平成19年6月に開始しました。

事業開始当初は無償で応援券を交付していましたが、22年10月に国の「子ども手当」の導入を受けて、「子ども手当」で購入するプレミアム付の有償(購入制)交付に転換しました。

22年度の事務事業等の外部評価(杉並版「事業仕分け」)を踏まえ、有償化などの影響を把握・分析した上で、事業の抜本的な見直しを図ることとしており、今回の調査・実績などの分析結果を基礎資料として活用していきます。

調査・検証の概要

検証に活用した調査・利用実績

各種アンケート

アンケートの種類	利用者アンケート		事業者アンケート	一般区民アンケート (区民意向調査)
	有償対象者	出生時無償対象者		
調査対象	区内の就学前児童と一緒に住んでいる保護者	22年度に出生時の応援券を交付した保護者	応援券登録事業者(23年4月30日現在)	満18歳以上の区民
調査対象数	3,000人	200人	870事業者	1,400人
調査方法等	郵送による回収。	郵送による回収。	事業者連絡会で回収。欠席者は郵送。	郵送留置、訪問回収。
調査期間	4月12日～4月28日	4月12日～4月28日	5月20日～5月31日	5月20日～6月27日
回答者数	820人	61人	575事業者	1088人
回答率	27.3%	30.5%	66.1%	77.7%
備考	「利用者アンケート・有償対象」と記載	「利用者アンケート・出生時無償対象」と記載	「事業者アンケート」と記載	「区民意向調査」と記載 平成23年7月「杉並区区民意向調査」速報版より

実績資料

- (1) 子育て応援券の交付実績 (19～22年度)
- (2) 子育て応援券の利用実績 (19～22年度)
- (3) 子育て応援券事業者・サービス登録実績 (19～22年度)

集計結果の見方

n は回答者数を示しています。

集計結果は小数点第2位を四捨五入して算出していますので、回答数を合計しても100%にならないことがあります。

複数回答の場合は合計が100%を超えることがあります。

調査回答者の属性

1 利用者アンケート・有償対象

応援券対象(就学前)の子どものうち、年齢が一番上の子どもについて、回答しています。回答のあった子どもの年齢は、以下のとおりです。

	子どもの年齢		回答数	割合
	22年度	23年度		
H17年度生	4歳児	5歳児	127	15.5%
H18年度生	3歳児	4歳児	163	19.9%
H19年度生	2歳児	3歳児	135	16.5%
H20年度生	1歳児	2歳児	177	21.6%
H21年度生	0歳児	1歳児	98	12.0%
H22年度生	出生年	0歳児	112	13.7%
無回答			8	1.0%
計			820	100.0%
参考	3～5歳児		425	51.8%
	0～2歳児		387	47.2%

2 利用者アンケート・出生無償対象

平成22年に生まれた子どものいる家庭です。

3 区民意向調査

区民意向調査に回答いただいた方の年齢は、以下のとおりです。

年齢	回答数	割合
10・20代	160	14.7%
30代	207	19.0%
40代	200	18.4%
50代	167	15.3%
60代	189	17.4%
70歳以上	147	13.5%
無回答	18	1.7%
	1,088	100%

調査・検証の結果

1 応援券事業開始からの状況

応援券を無償で交付していた 19～21 年度に比べ、22 年 10 月に無償交付から有償（購入制）交付へ転換したことにより、交付額・利用額ともに減少しています。

また、サービスの見直しなどにより、事業者・サービスの登録数も減少し、事業規模は縮小傾向にあります。

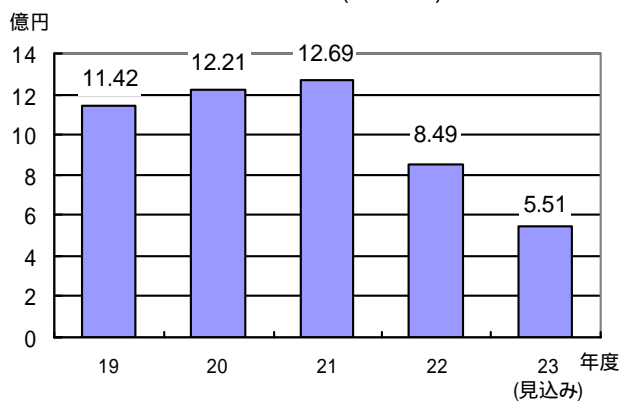
(1) 応援券の交付・利用状況

交付状況

応援券の交付総額は、平成 19 年度から平成 21 年度まで、約 11 億円から約 12.5 億円程度で推移していましたが、平成 22 年度は 10 月から有償制へ転換するとともに、無償交付が 9 月までの半年相当分となったことにより、約 8.5 億円まで減少しています。

平成 23 年度は、年度を通して有償制による交付となることから、交付総額がさらに減少が見込まれます。

応援券交付額(年度別)

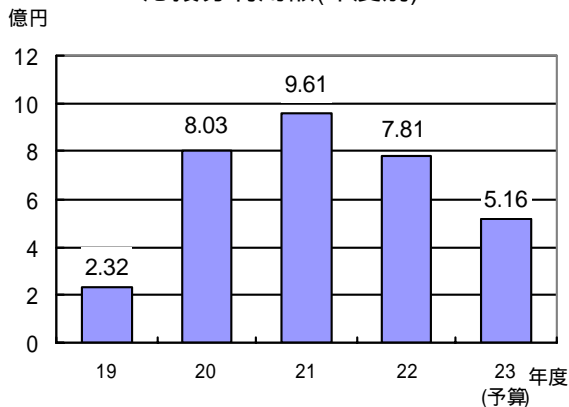


利用状況

応援券の利用額は、平成 19 年度の制度開始以後、平成 21 年度に 9.6 億円まで上昇した後、平成 22 年度には有償制への転換等により、7.8 億円に減少しました。応援券の有効期間は発行年度の翌年度までであることから(5 歳児発行分を除く)、22 年度はまだ無償交付の応援券の利用が 9 割を占めます。

(資料 2- 3 参照)

応援券利用額(年度別)

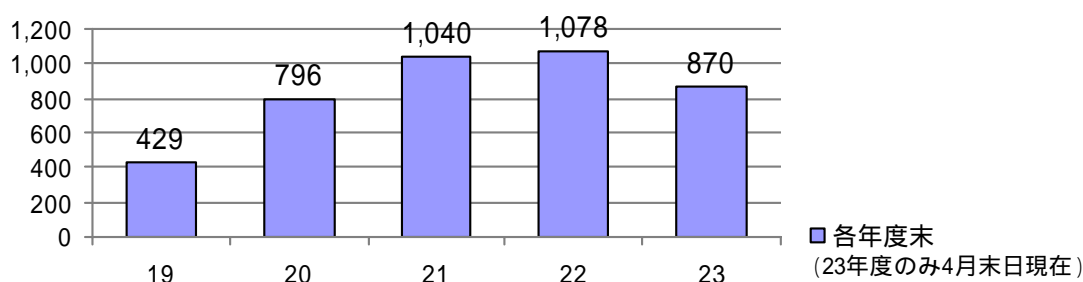


(2) 応援券のサービス提供事業者の登録状況

事業者登録状況（全体）

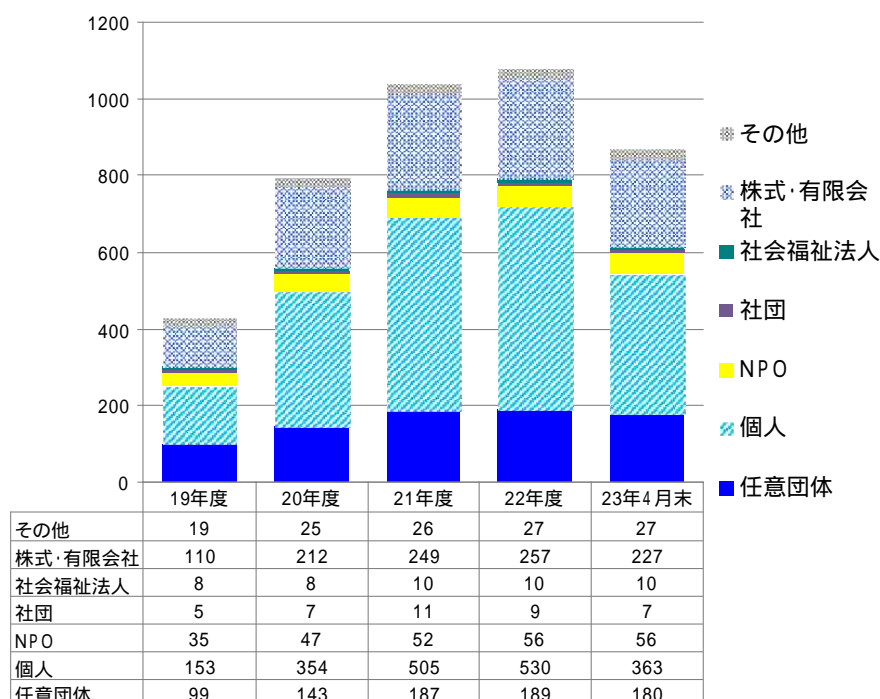
応援券サービス提供事業者の登録状況は、平成 19 年事業開始以降、事業普及のため積極的に拡充を図ってきたことにより平成 21 年度までは増加しました。これに伴い、サービスの内容などについて、事業目的に照らしサービスの審査基準の見直し、自己評価の実施などを行いました。平成 22 年度の有償制への転換後は、事業者数の増加は落ち着きを見せています。

また、23 年 3 月末の鍼灸マッサージサービスの廃止に伴い 207 事業者が廃止となり、平成 23 年 4 月末には 870 事業者となっています。



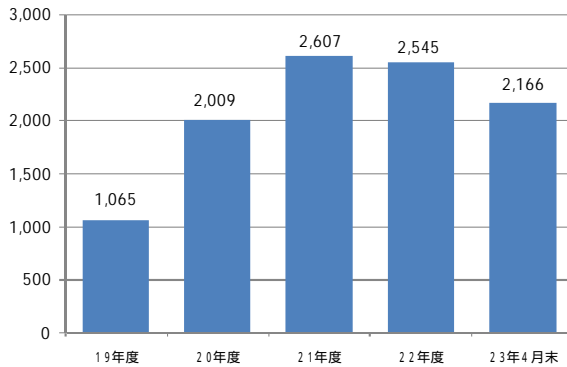
事業者登録状況（運営主体別）

平成 19 年度の事業開始当初は、運営主体が個人 153 事業者、株式・有限会社 110 事業者、任意団体 99 事業者の 3 種類の事業者の割合が多くなっていました。その後個人事業者が大幅に増加し、平成 23 年 4 月末には、個人 363 事業者、株式・有限会社 227 事業者、任意団体 180 事業者となっています。



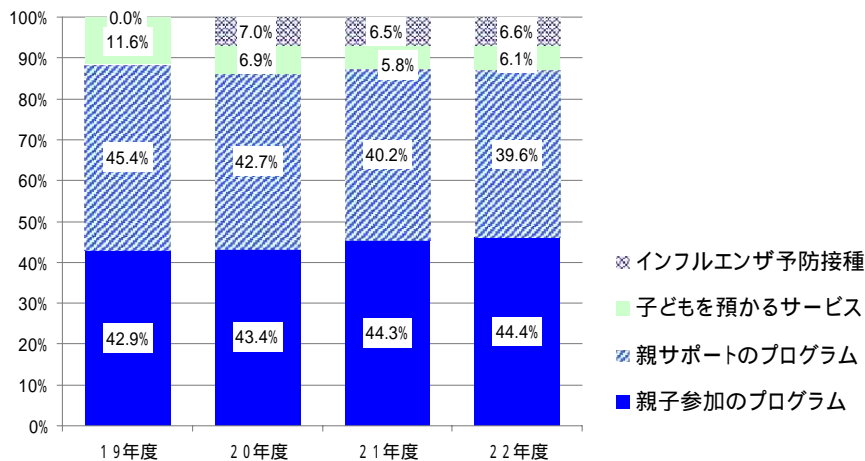
サービス登録状況（全体）

事業者の増加にあわせて、提供するサービスも平成19年度から平成21年度までは増加しました。その後、平成21年度をピークに平成22年以降は減少しています。



サービス登録状況（13分類別） 分類表は36ページ

サービス別にみると、平成20年度からインフルエンザ予防接種の費用を応援券で利用できるようになりました。19年度と比較し、「親子の集いの場」が4.2倍、「家事援助（ハウスクリーニングを含む）」が2.8倍、「親子で体験講座」が2.6倍と増えています。



サービス種別		19年度	20年度	21年度	22年度	各年度末 19年度・22 年度との比
親子参加の プログラム	親子で鑑賞事業	89	122	177	152	171%
	親子で体験講座	278	547	699	733	264%
	親子の集いの場	35	99	149	148	423%
	親子参加のイベント	55	104	131	98	178%
	小計	457	872	1,156	1,131	247%
親サポートの プログラム	産後を中心とした支援	175	385	400	370	211%
	家事援助	24	43	60	67	279%
	子育て相談	150	274	394	289	193%
	子育て講座	132	152	276	281	213%
	その他	3	4	1	1	33%
小計	484	858	1,047	1,008	208%	
子どもを預かる サービス	特定の場所での保育	42	56	60	57	136%
	イベントなどの託児サービス	24	25	27	25	104%
	自宅での託児サービス	58	58	64	68	117%
	幼稚園での体験型保育				4	
小計	124	139	151	154	124%	
インフルエンザ予防接種			140	169	168	
サービス数 合計		1,065	2,009	2,607	2,545	239%

2 事業全般についての検証

応援券事業は、利用者から「地域の様々な人と関わったり外出のきっかけになっている」「子育てに疲れたり悩んだりしたときの支援として役立っている」との声が多く寄せられています。

また、区民一般の方からも、応援券事業が子育てを地域で支えあう仕組みとして有効と半数近くの方が回答しています。

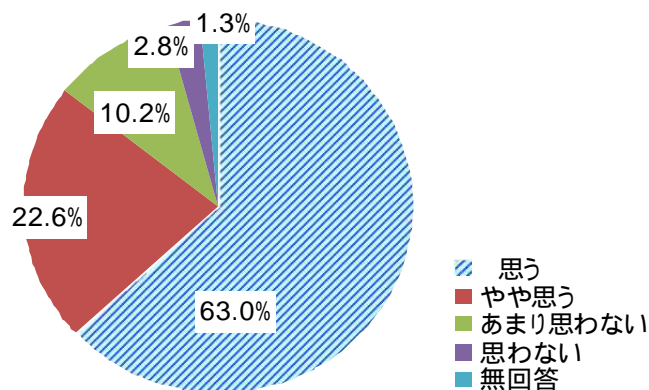
利用者からも、区民一般の方からも、地域の子育て支援策として評価されています。

(1) 応援券事業に対する意識

利用者の意識

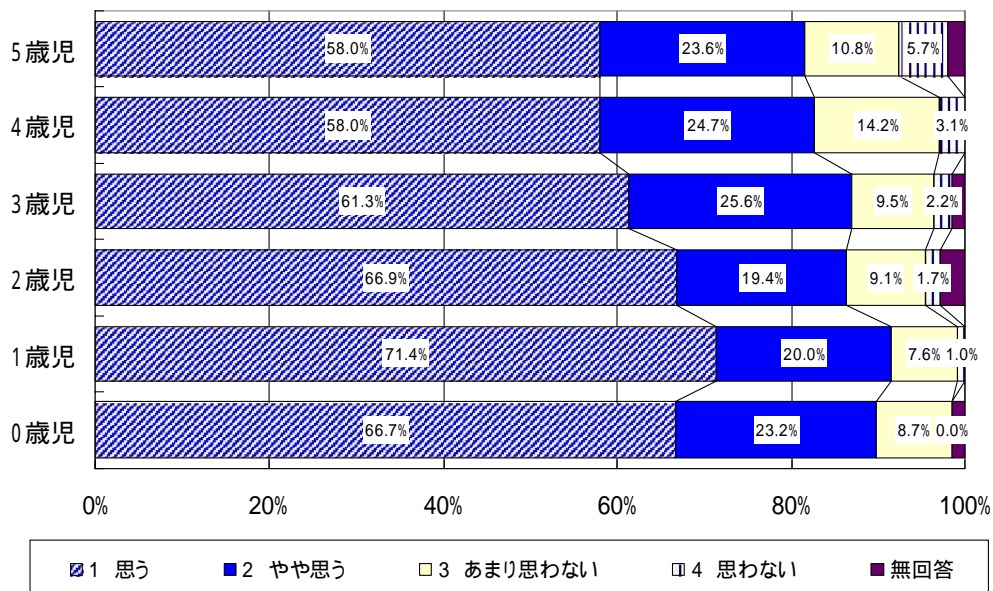
利用者アンケートから、地域の様々な人と関わったり外出のきっかけになっているかという設問、子育てに疲れたり悩んだりしたときの支援として役立っているかという設問に対し、それぞれに「思う」「やや思う」の回答が9割近くとなっています。

「地域の様々な人と関わったり、外出のきっかけになっていると思いますか」という設問に対する回答
(利用者アンケート・有償対象より)

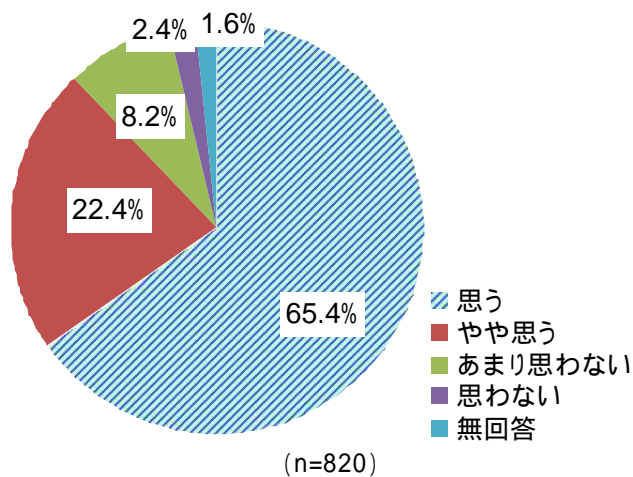


(n=820)

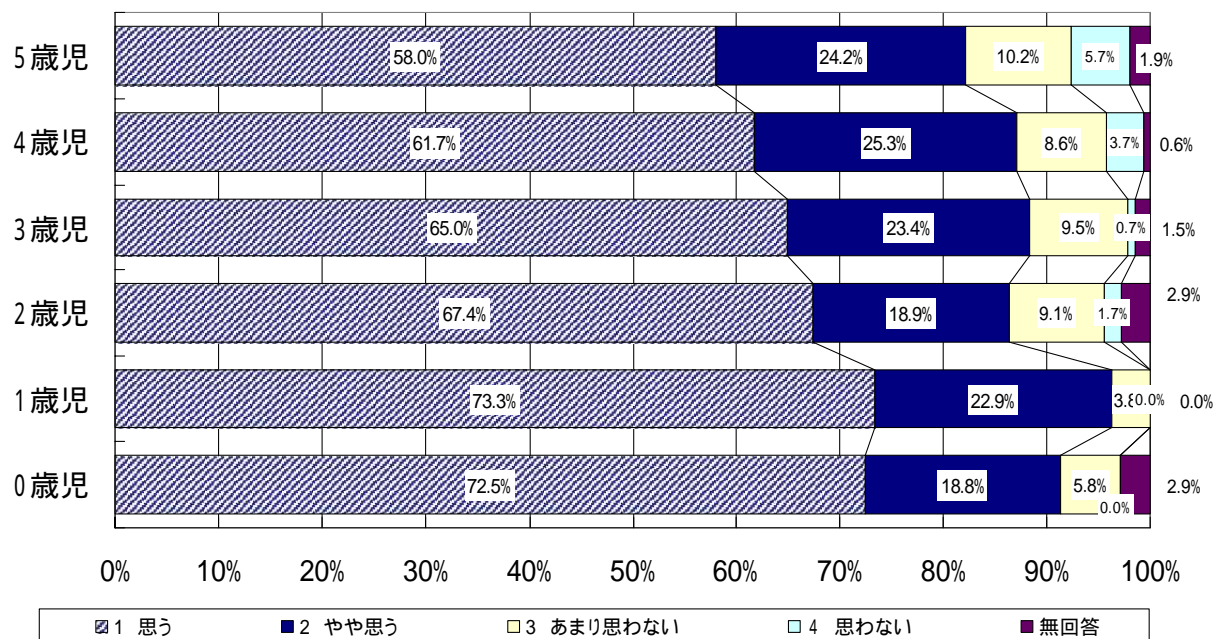
▶ 上記を年齢別に見ると、「思う」「やや思う」の割合が、0歳89.9%、1歳91.4%と他の年齢の子どもより割合が高くなっています。



「子育てに疲れたり、子育てに悩んだときの支援として役に立っていると思いますか」という設問に対する回答
 (利用者アンケート・有償対象より)



上記を年齢別に見ると、「思う」「やや思う」の割合が、0歳 91.3%、1歳 96.2%と他の年齢の子どもより割合が高くなっています。



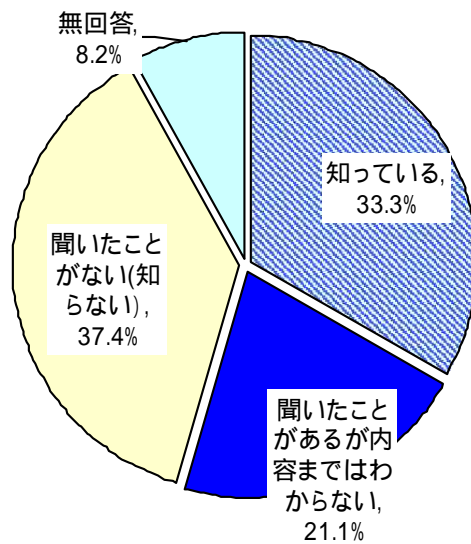
区民一般の意識

子育て応援券事業の認知度については、内容まで「知っている」と回答したのは回答者全体の3割ですが、就学前の子どもがいる割合が高い子育て世代である30・40代の周知度は半数を超え高くなっています。

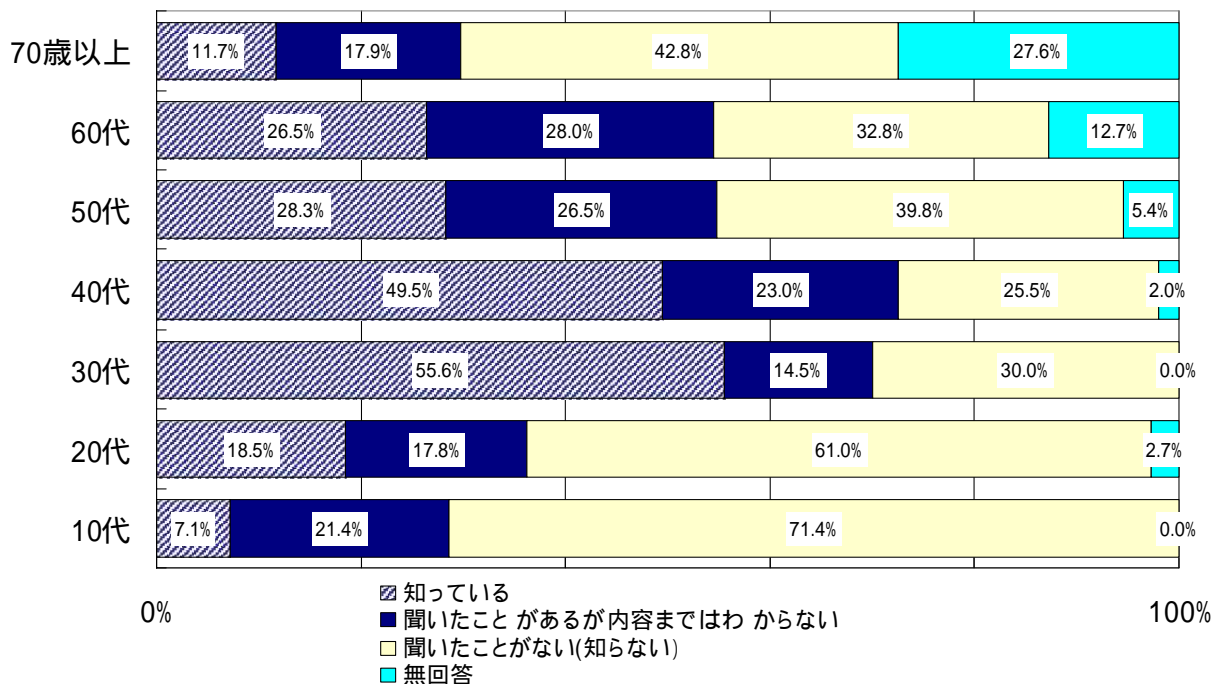
また、応援券事業が子育てを地域で支えあう仕組みとして有効であると半数近くの方が回答しており、特に30・40代の方の評価が高くなっています。

「子育て応援券を知っていますか」という設問に対する回答

(「区民意向調査」より)

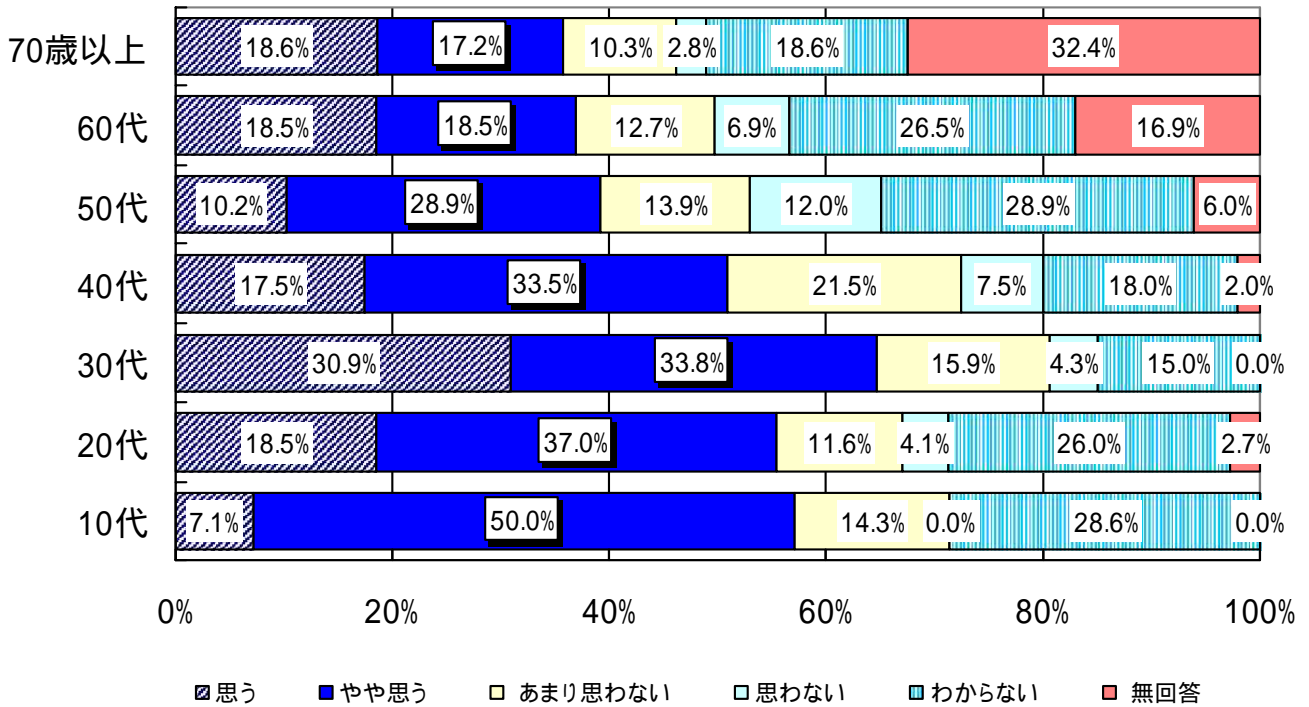
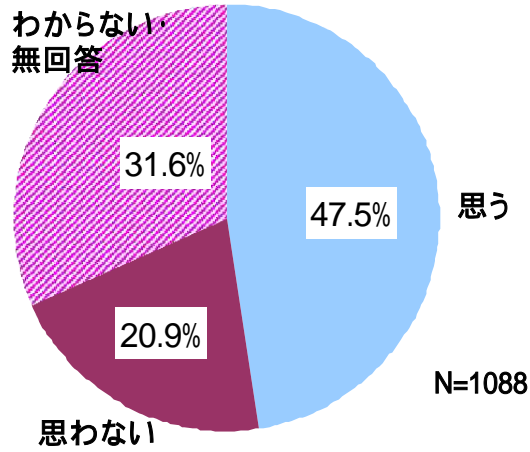


N=1088



「応援券事業が子育て家庭にとって地域の様々な人と関わるきっかけとなり、子育てを地域で支えあ
う仕組みとして、有効だと思いますか」という設問に対する回答。

(「区民意向調査」より)



(2) 子育て支援施策に対する評価

区民一般の意識

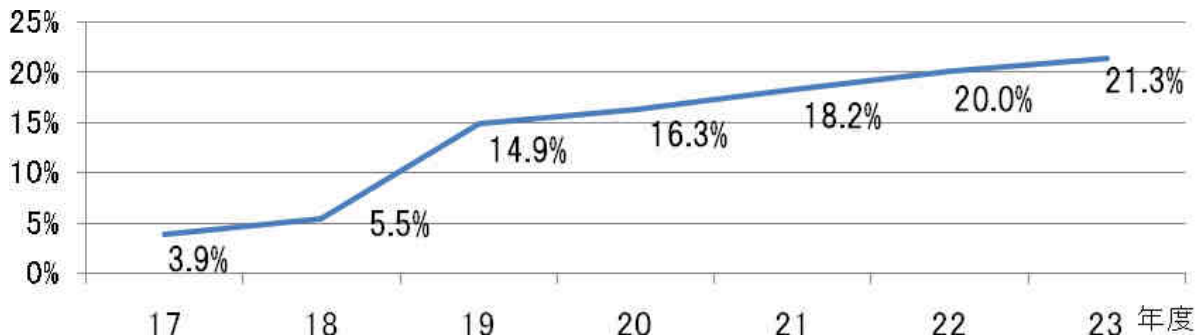
区が力を入れていると評価している施策として、「子育て支援」を挙げる者の割合が、平成 17 年度の 3.9%から 23 年度は 21.3%と大きく伸びています。特に応援券を導入した 19 年度以降大きく伸びており、保育の待機児童など他の子育て支援策と相まって、区民一般から高く評価されています。

下にあげた施策の中で、杉並区が力を入れていると評価できるものを3つ以内で選び、回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 居住環境の整備施策 | 2 道路・交通体系の整備施策 |
| 3 自転車駐車場の整備施策 | 4 災害につよいまちづくり施策 |
| 5 みどりと景観に配慮したまちづくり施策 | 6 公害・環境対策と省資源・リサイクル施策 |
| 7 子育て支援施策 | 8 高齢者福祉施策 |
| 9 障害者福祉施策 | 10 健康づくり支援施策 |
| 11 地域福祉の基盤整備施策 | 12 産業振興・商店街活性化施策 |
| 13 学校教育施策 | 14 生涯学習振興施策 |
| 15 地域文化の振興施策 | 16 地域社会の活性化施策 |
| 17 地域と行政の情報化の推進施策 | 18 区民の参画と協働の推進施策 |
| 19 その他 | |

(「区民意向調査」より)

【杉並区が子育て支援策に力を入れていると評価している人の割合】



【杉並区が力を入れていると評価できる施策(上位5項目)】

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
1	みどりと景観	みどりと景観	自転車駐車場	みどりと景観	自転車駐車場	みどりと景観	みどりと景観
2	自転車駐車場	自転車駐車場	公害・環境対策と省資源	自転車駐車場	公害・環境対策と省資源	自転車駐車場	自転車駐車場
3	公害・環境対策と省資源	公害・環境対策と省資源	みどりと景観	公害・環境対策と省資源	みどりと景観	公害・環境対策と省資源	子育て支援
4	道路・交通体系の整備	居住環境の整備	子育て支援	子育て支援	子育て支援	子育て支援	公害・環境対策と省資源
5	高齢者福祉	健康づくり支援	健康づくり支援	学校教育	道路・交通体系の整備	居住環境の整備	居住環境の整備

子育て環境の向上

ひととき保育などのサービス基盤の充実、さらには応援券をきっかけに子育て支援サービスを立ち上げた事業者の増加など、応援券事業は地域の子育て環境の向上に寄与しています。

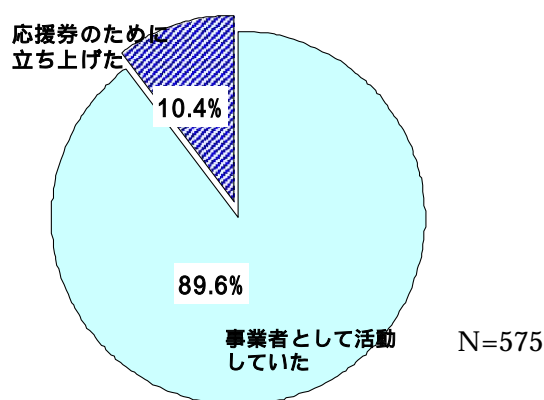
【ひととき保育の整備】

応援券事業の導入に当たり、一時保育のニーズが増えることが見込まれるため、「ひととき保育」を計画的に整備しました。

【応援券をきっかけに立ち上げた事業者】

応援券事業の導入により、就学前の子育て家庭が利用できるようにと、地域のさまざま団体・企業などが子育て支援サービスを提供するようになりました。また、応援券事業に登録したことにより、7割を超える事業者が周知度・利用者数が「増えた」「少し増えた」と回答しています。

「事業者アンケート」より、「応援券事業者に登録していたときは、すでに事業者活動していましたか」という設問に対する回答。
(事業者アンケートより)



「応援券事業者に登録したことで変化がありましたか」また「その変化はどのような内容ですか」という設問に対する回答。
(事業者アンケートより)

選択肢	周知度		利用者数		収入	
1 増えた(広がった)	119	25.5%	121	26.0%	77	16.7%
2 少し増えた(少し広がった)	234	50.2%	210	45.1%	206	44.8%
3 変化なし	113	24.2%	127	27.3%	165	35.9%
4 少し減った	—	—	1	0.2%	4	0.9%
5 減った	—	—	7	1.5%	8	1.7%
回答なし	63		63		69	
合計	529	100.0%	529	100.0%	529	100.0%

3 応援券の交付についての検証

無償制から有償制に転換したことについて、利用者からは、サービスを計画的に利用するようになったと評価する声が多く寄せられている反面、気軽に利用できなくなったとの声も寄せられています。

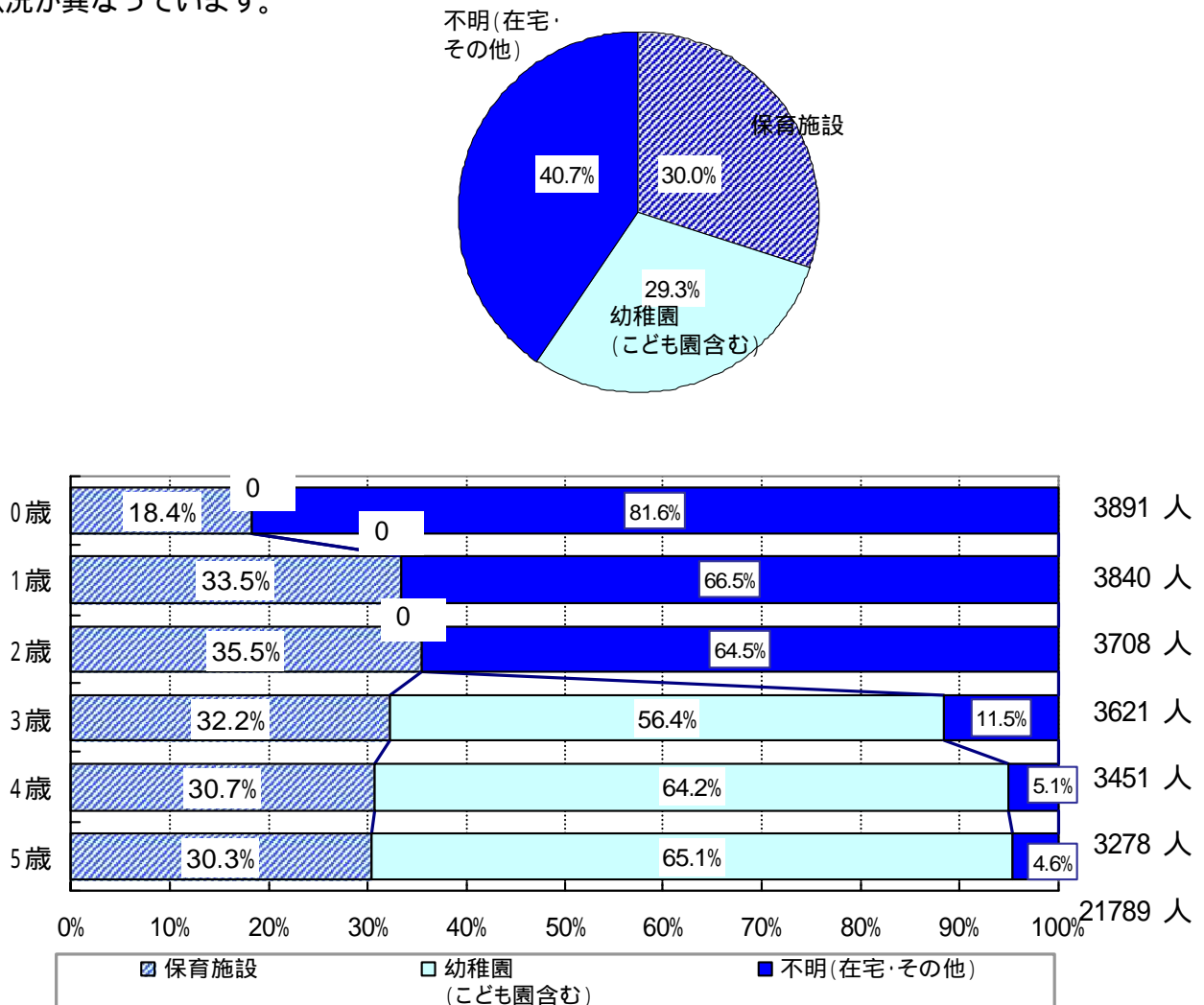
無償制の時は、対象者ほぼ全員に交付していた応援券ですが、有償になり購入する世帯は約4割となっています。未就学家庭の6割の世帯に、応援券が交付されていない状況となっています。

また、有償制では、交付時期が子ども手当と連動し年3回となっていることから、子どもの出生から応援券の交付まで、長い場合には半年程度の期間を要することがあります。

(1) 子育て家庭の状況

就学前の子どもの状況

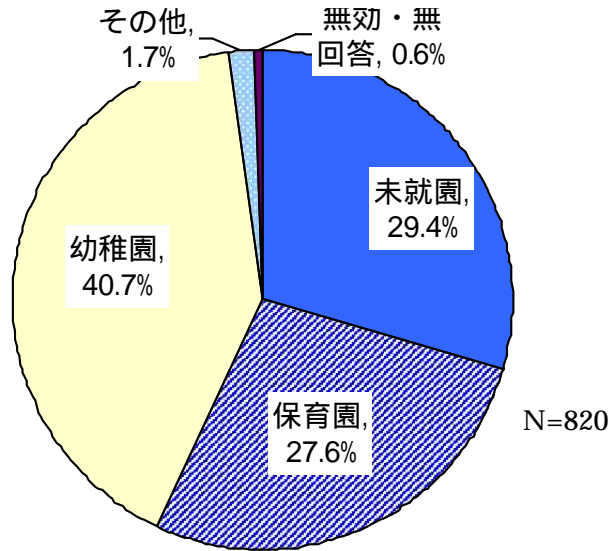
就学前の子ども全体の状況は、保育園が3割、幼稚園が3割、在宅等が4割となっており、年齢別に状況が異なっています。



平成23年5月1日現在。ただし、外国人登録の児童数のみ4月1日現在。

調査対象の子どもの状況 (利用者アンケート・有償対象より)

調査に回答のあった家庭の子どもの状況は、保育園が3割、幼稚園が4割、未就園(在宅等)が3割と、前ページの就学前の子どもの状況に比べ、幼稚園の割合が高くなっています。

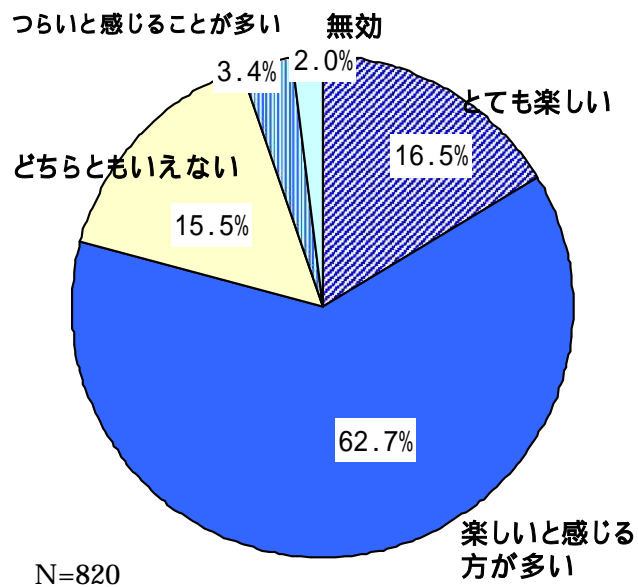


子育て家庭の意識

子育てに対する意識は、「とても楽しい」「楽しいと感じる方が多い」をあわせ、8割近い方が、子育てを楽しんでいると感じています。また、子どもの年齢が小さいほど楽しいと感じる人の割合が高くなっています。

また、子育てが地域の人に支えられているかという設問に対し、8割近い方が「強く感じている」「どちらかというそう感じている」と応えています。

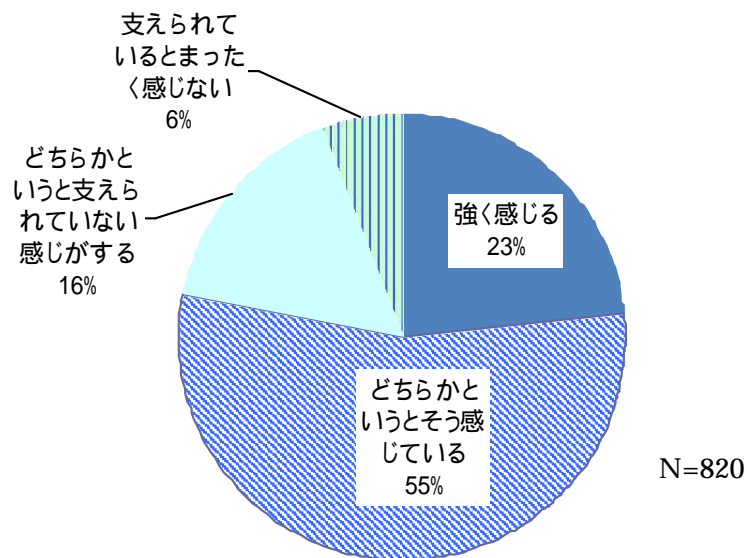
「利用者へのアンケート」より、「子育てについて日頃どのように感じていますか」という設問に対する回答。
(利用者アンケート・有償対象より)



▶「子育てについて日頃どのように感じていますか」という設問・年齢別

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	無回答
とても楽しい	29.0%	26.7%	15.4%	11.0%	16.1%	11.5%	6.7%
楽しいと感じる方が多い	65.2%	61.9%	62.3%	67.9%	59.3%	61.8%	60.0%
どちらともいえない	1.5%	8.6%	16.6%	15.3%	21.0%	18.5%	26.7%
つらいと感じる方が多い	2.9%	2.9%	2.3%	3.7%	1.9%	7.0%	0.0%
無効・無回答	1.5%	0.0%	3.4%	2.2%	1.9%	1.3%	6.7%
回答数	69	105	175	137	162	157	15

「利用者へのアンケート」より、「子育てが地域の人に支えられていると感じますか」という設問に対する回答。
(利用者アンケート・有償対象より)



▶「子育てが地域の人に支えられていると感じますか」という設問・年齢別

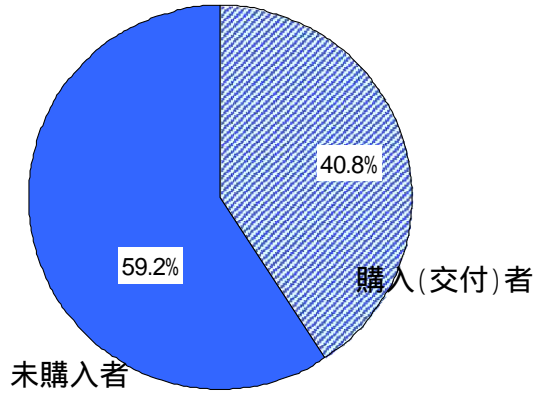
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	無回答
強く感じる	24.6%	23.8%	22.3%	24.8%	21.0%	22.3%	33.3%
どちらかというそう感じている	53.6%	54.3%	54.9%	56.2%	54.3%	49.7%	53.3%
どちらかという支えられていない感じがする	15.9%	16.2%	14.3%	13.1%	19.1%	17.8%	6.7%
支えられているとまったく感じない	4.4%	5.7%	5.7%	4.4%	5.6%	7.6%	6.7%
無回答	1.5%	0.0%	2.9%	1.5%	0.0%	2.6%	0.0%
回答数	69	105	175	137	162	157	15

(2) 有償応援券の交付(購入)状況

交付(購入)の実績

有償制への転換後、購入世帯は約4割となっており、未就学家庭の6割には応援券が交付されていません。在宅での子育ての多い3歳未満の子どもの家庭についても、購入率は同様となっています。

22年度(11月・3月)の交付(購入)実績



[22年度(11月・3月下旬の2回交付分)の実績]

交付児童数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
対象児童数(a)	6,918	3,739	3,647	3,441	3,257	3,236	24,238
交付(購入)者数(b)	2,664	1,649	1,672	1,550	1,439	919	9,893
交付率(b/a)	38.51%	44.10%	45.85%	45.05%	44.18%	28.40%	40.82%

交付世帯数

対象児世帯数(A)	18,632
購入・交付世帯数(B)	7,979
交付率(B/A)	42.82%

交付冊数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
交付(購入)冊数(c)	8,064	5,565	5,675	2,784	2,603	1,697	26,388
一人平均交付(購入)冊数(c/b)	3.0	3.4	3.4	1.8	1.8	1.8	

[参考]23年度の申込状況(平成23年4月30日現在)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
対象児童数(a)23.4.1	3,951	3,855	3,724	3,629	3,444	3,256	21,859
申込決定者数(b)23.5.31	1,493	1,525	1,616	1,368	1,495	1,164	8,661
交付率(b/a)	37.79%	39.56%	43.39%	37.70%	43.41%	35.75%	39.62%

	計
対象児世帯数(A)	17,792
申込決定世帯数(B)	7,028
交付率(B/A)	39.5%

0歳児については、4月中出生時発行分の増が見込まれるので、実際は35%程度

(3) 有償化による意識の変化

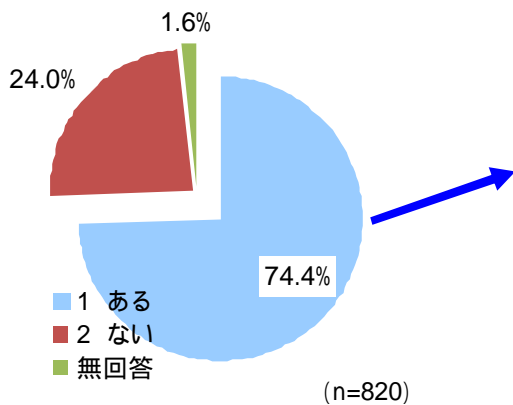
利用者の有償化に対する意識

有償制への転換に伴い、サービスを計画的に利用するようになった反面、気軽に利用できなくなったとの意見が多く寄せられています。

購入予定者の大部分は、購入前に利用予定サービスを決めています。

購入制になったことで変化はありますか

(利用者アンケート・有償対象より)

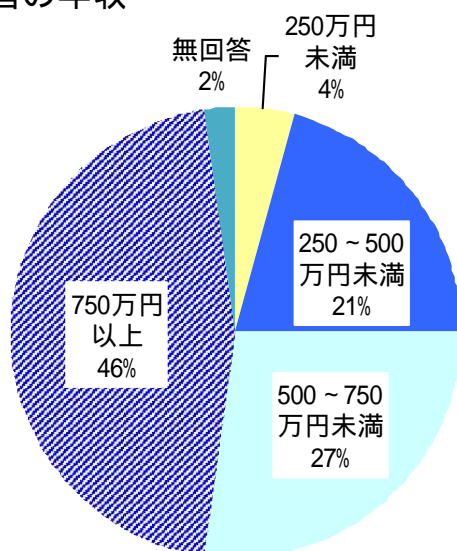


その変化の内容は (変化のあった610人のみ)

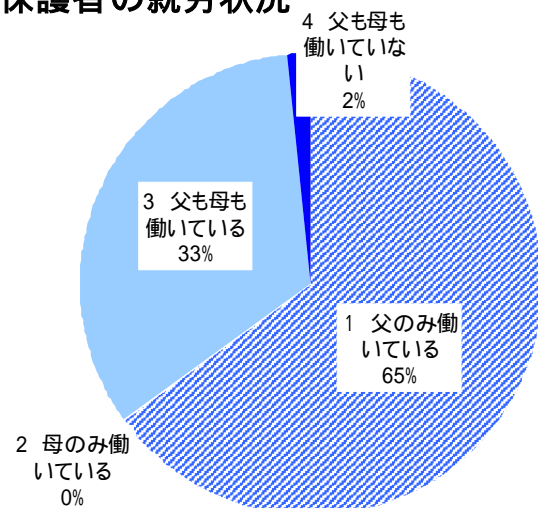
1 サービス内容を確認するようになった	7.0%
2 計画的に利用するようになった	25.1%
3 気軽に利用できなくなった	40.3%
4 購入費が気になり利用を少なくした	12.1%
5 その他	5.1%
無効・無回答	10.3%
	100.0%

[利用者アンケート・有償対象の所得状況等]

保護者の年収



保護者の就労状況



【有償(購入制)に対する意識・所得状況別】

	250万円未満	250～ 500万円未満	500～ 750万円未満	750万円以上	無回答
1 ある	85.3%	78.2%	78.6%	69.2%	73.7%
2 ない	14.7%	20.0%	20.1%	29.2%	21.1%
無回答	0.0%	1.8%	1.3%	1.6%	5.3%
回答数	34	170	224	373	19

▶ 変化の内容 (変化のあった610人のみ)

	250万円未満	250～ 500万円未満	500～ 750万円未満	750万円以上	無回答
サービス内容を確認するようになった	3.4%	4.5%	7.4%	8.5%	7.1%
計画的に利用するようになった	20.7%	23.3%	26.7%	26.4%	7.1%
気軽に利用できなくなった	44.8%	39.8%	43.2%	37.2%	57.1%
購入費が気になり利用を少なくした	6.9%	15.0%	10.8%	11.2%	28.6%
その他	6.9%	5.3%	2.8%	6.6%	0.0%
無効・無回答	17.2%	12.0%	9.1%	10.1%	0.0%
回答数	29	133	176	258	14

【有償(購入制)に対する意識・子どもの状況別】

	未就園	保育園	幼稚園	その他	無効	無回答
ある	78.8%	69.9%	73.7%	92.9%	0.0%	75.0%
ない	19.5%	28.3%	24.9%	7.1%	100.0%	25.0%
無回答	1.7%	1.8%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
回答数	241	226	334	14	1	4

▶ 変化の内容 (変化のあった610人のみ)

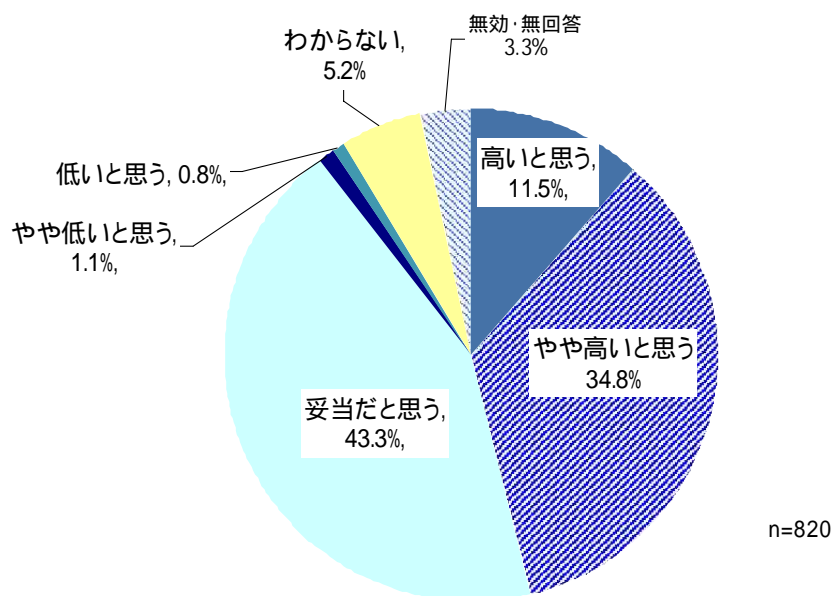
	未就園	保育園	幼稚園	その他	無効・無回答
サービス内容を確認するようになった	2.6%	8.2%	9.8%	7.7%	0.0%
計画的に利用するようになった	28.4%	22.8%	24.8%	7.7%	33.3%
気軽に利用できなくなった	39.5%	40.5%	41.5%	30.8%	33.3%
購入費が気になり利用を少なくした	12.1%	12.0%	11.8%	15.4%	33.3%
その他	5.3%	5.7%	4.1%	15.4%	0.0%
無効・無回答	12.1%	10.8%	8.1%	23.1%	0.0%
回答数	190	158	246	13	3

利用者の購入価格に対する意識

現在の購入価格(1冊 3000 円で 10000 円分)に対する意識については、「妥当だと思う」が一番多く、次が「やや高い」となっています。

「有償の応援券は、購入価格が1冊 3,000 円で、10,000 円分のサービスに利用できるものです。この購入価格の評価はどれに該当しますか」という設問に対する回答。

(利用者アンケート・有償対象より)



【購入価格に対する意識 / 所得状況別】

	250万円未満	250～500万円未満	500～750万円未満	750万円以上	無回答
高いと思う	2.9%	12.9%	11.6%	4.6%	21.1%
やや高いと思う	41.2%	26.5%	24.6%	25.2%	21.1%
妥当だと思う	38.2%	28.8%	35.7%	31.1%	31.6%
やや低いと思う	0.0%	0.6%	0.9%	0.8%	5.3%
低いと思う	0.0%	1.2%	0.0%	0.8%	0.0%
わからない	0.0%	5.3%	3.1%	4.3%	0.0%
無効	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
無回答	17.7%	24.7%	23.7%	33.2%	21.1%
回答数	34	170	224	373	19

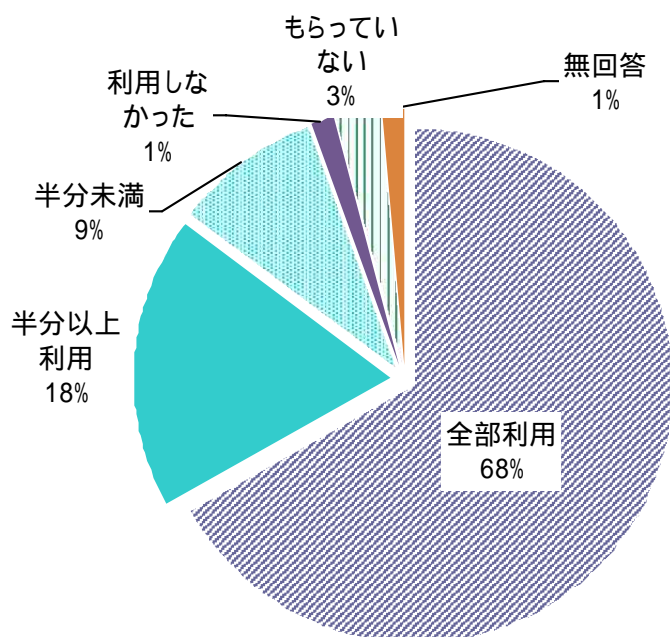
【購入価格に対する意識 / 子どもの状況別】

	未就園	保育園	幼稚園	その他	無効	無回答
高いと思う	10.4%	5.3%	9.0%	21.4%	0.0%	0.0%
やや高いと思う	28.2%	23.5%	26.4%	14.3%	0.0%	25.0%
妥当だと思う	34.4%	31.9%	31.4%	21.4%	0.0%	25.0%
やや低いと思う	0.4%	1.3%	0.6%	0.0%	0.0%	25.0%
低いと思う	0.4%	0.9%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	2.9%	5.3%	3.0%	21.4%	0.0%	0.0%
無効	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	23.2%	31.4%	29.0%	21.4%	100.0%	25.0%
回答数	241	226	334	14	1	4

利用者の利用・購入予定状況と意識

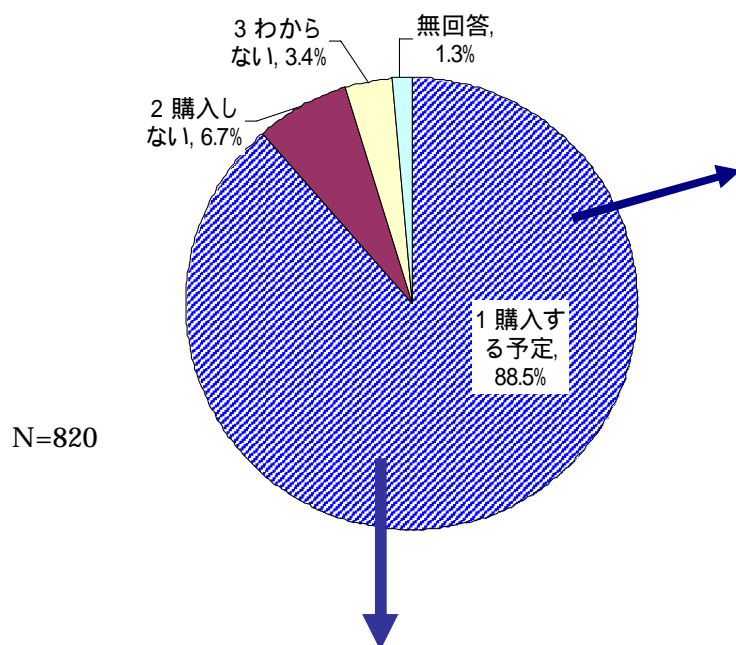
22年度に交付した無償応援券の利用状況に対する回答。

(利用者アンケート・有償対象より)



23年度有償応援券の購入状況及び購入理由に対する回答。

(利用者アンケート・有償対象より)



23年度有償応援券購入割合

	割合
100%	63.2%
50%以上	21.8%
50%未満	9.8%
無効	0.1%
無回答	5.1%
	100%

(n=579)

23年度有償応援券利用予定のサービスについて (購入予定者726人のみ)

全部決まっている	32.7%
半分以上決まっている	35.5%
決まっているのは半分未満	16.1%
まだわからない	10.4%
無効	0.3%
無回答	5.1%

23年度有償応援券購入しようと考えた理由

	割合
プレミアムが付いているから	57.7%
これからサービスを利用してみたいから	22.4%
交付時期が決まっているので、とりあえず購入した	14.5%
その他	5.4%

(n=989)

【 利用者の利用・購入予定状況と意識 / 所得別 】

22年9月までの無償応援券の所得階層別利用状況

	250万未満	250～500万未満	500～750万未満	750万以上	無回答	計
全部利用	61.8%	59.4%	64.3%	72.1%	73.7%	67.0%
50%以上利用	17.7%	25.9%	21.0%	13.4%	21.1%	18.4%
50%未満利用	11.8%	9.4%	8.9%	9.1%	5.3%	9.2%
利用しなかった	2.9%	2.9%	1.3%	0.5%		1.3%
もらっていない	2.9%	1.8%	2.7%	3.5%		2.8%
無回答	2.9%	0.6%	1.8%	1.3%		1.3%
回答数	34	170	224	373	19	820

[参考] 収入別の割合

750万未満	750万以上
48.5%	49.0%
64.2%	33.1%
53.3%	45.3%
81.8%	18.2%
43.5%	56.5%
54.6%	45.5%
52.2%	45.5%

23年度有償応援券の所得階層別購入状況

	250万未満	250～500万未満	500～750万未満	750万以上	無回答	回答割合
購入した	88.2%	82.4%	84.4%	93.6%	94.7%	88.5%
(内訳)						
100%購入	38.2%	46.5%	55.8%	61.4%	68.4%	56.0%
50%以上	38.2%	19.4%	18.3%	18.8%	5.3%	19.3%
50%未満	11.8%	9.4%	8.5%	8.6%		8.7%
無効・無記入		7.1%	1.8%	4.8%	21.1%	4.6%
入しなかった	5.9%	11.8%	9.4%	3.2%		6.7%
対象でなかった	2.9%	4.7%	4.5%	2.4%		3.4%
無回答	2.9%	1.2%	1.8%	0.8%	5.3%	1.3%
回答数	34	170	224	373	19	820

[参考] 収入別の割合

750万未満	750万以上
55.0%	42.7%
52.5%	45.0%
55.4%	44.6%
90.7%	9.3%
40.0%	47.5%
31.9%	65.2%
86.4%	13.6%
70.0%	30.0%
52.2%	45.5%

【 利用者の利用・購入予定状況と意識 / 子どもの状況別 】

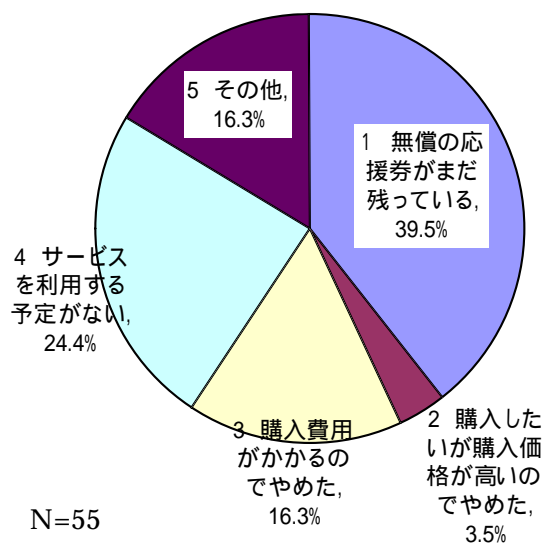
22年9月までの無償応援券の対象児別利用状況

	未就園	保育園	幼稚園	その他	無効	無回答	計
全部利用	64.3%	62.0%	71.6%	78.6%		100.0%	67.0%
50%以上利用	21.2%	19.0%	16.2%	21.4%			18.4%
50%未満利用	7.5%	14.2%	7.5%				9.2%
利用しなかった	1.2%	0.9%	1.5%		100.0%		1.3%
もらっていない	4.2%	2.7%	2.1%				2.8%
無回答	1.7%	1.3%	1.2%				1.3%
回答数	241	226	334	14	1	4	820

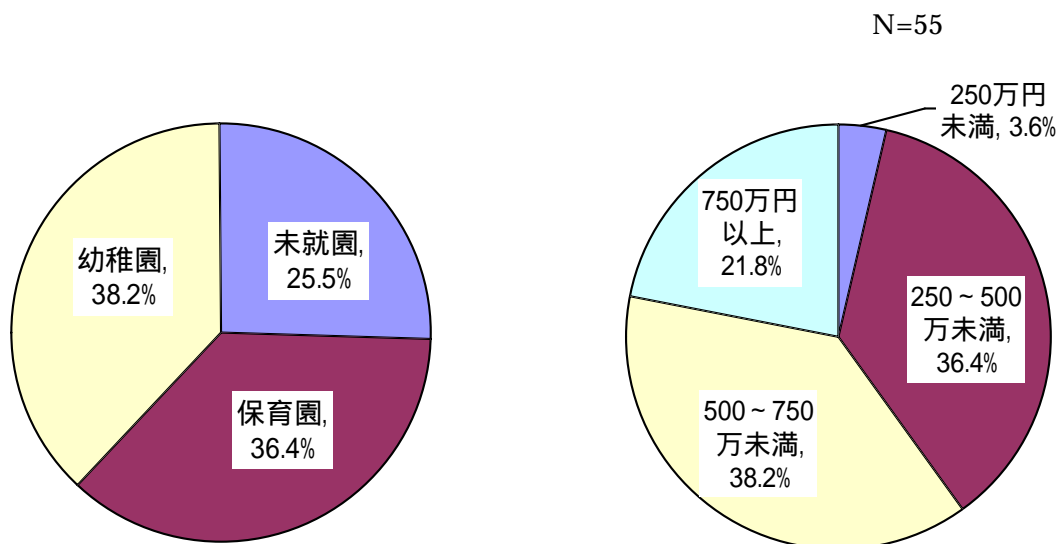
	未就園	保育園	幼稚園	その他	無効	無回答	計	
購入した	89.6%	84.5%	90.4%	100.0%		75.0%	88.5%	
(内訳)	100%購入	49.8%	53.1%	62.6%	64.3%		25.0%	56.0%
	50%以上	22.4%	18.1%	18.0%	21.4%			19.3%
	50%未満	11.6%	10.2%	6.0%				8.7%
	無効・無記入	5.8%	3.1%	3.9%	14.3%		50.0%	4.6%
購入しなかった	5.8%	8.9%	6.3%				6.7%	
対象でなかった	4.2%	4.9%	2.1%				3.4%	
無回答	0.4%	1.8%	1.2%		100.0%	25.0%	1.3%	
回答数	241	226	334	14	1	4	820	

利用者で購入しない人の意識

23年度有償応援券を購入しないと回答した人の理由。(利用者アンケート・有償対象より)

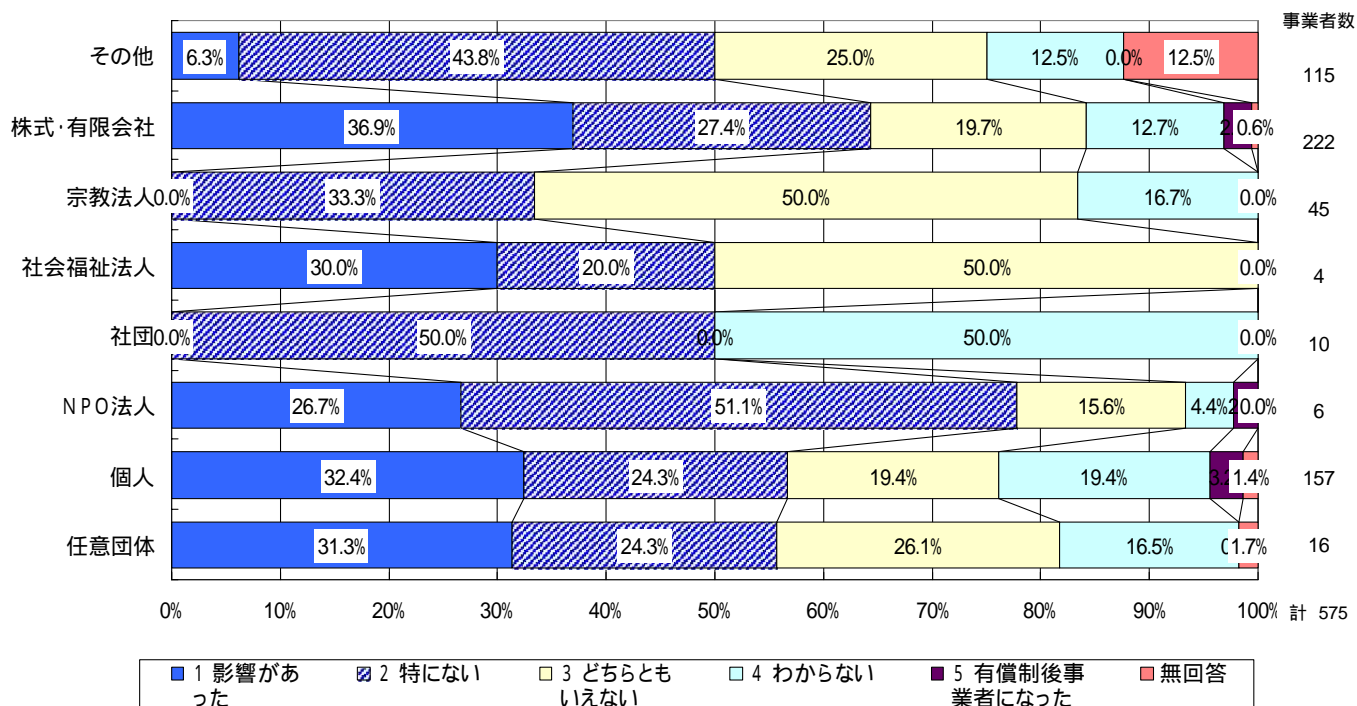


【23年度有償応援券を購入しないと回答した人の、お子さんの状況・所得別】



事業者の有償化による意識の変化

「無償制から有償制に見直したことにより、事業者活動に影響がありましたか」という設問に対する回答。
 (「事業者アンケート」より)



▶ 上記で「1 影響があった」と回答した事業者が実施しているサービスの区分

サービス区分	サービス数
ものづくりの親子講座	28
親子の集い(プログラムの提供)	28
親子でからだを動かす講座	24
ベビーマッサージ、キッズマッサージなどの講座	19
その他の子育てサポート講座	19
自宅での託児サービス	17
親子で外国語体験	16
親子で音楽体験	15
その他の親子講座	14
家事援助	14
ひととき保育・子育てサポートセンターでの一時保育・保育施設での一時保育	14

有償応援券の交付サイクル

有償制では、交付時期が子ども手当と連動し年3回となっていることから、子どもの出生から応援券の交付まで、長い場合には半年程度の期間を要しています。

	新規対象者	申込締切	支払い	応援券の交付
1回目	1月～4月の転入・出生	5月末	6月末	7月下旬
2回目	5月～8月の転入・出生	9月末	10月末	11月下旬
3回目	9月～12月の転入・出生	1月末	2月末	3月下旬

4 応援券サービスについての検証

(1) サービス別の利用状況

サービス利用については、低年齢児の家庭と、それ以外の就学前児童の家庭で、次のような異なる傾向が見られます。

(1) 低年齢児家庭で利用の多いサービス

事業の目的どおりの効果を挙げており、区民一般での子育てを応援するために必要と考える方の割合が多くなっています。一方で、有償制への転換に伴い、利用が減少する傾向が見られます。

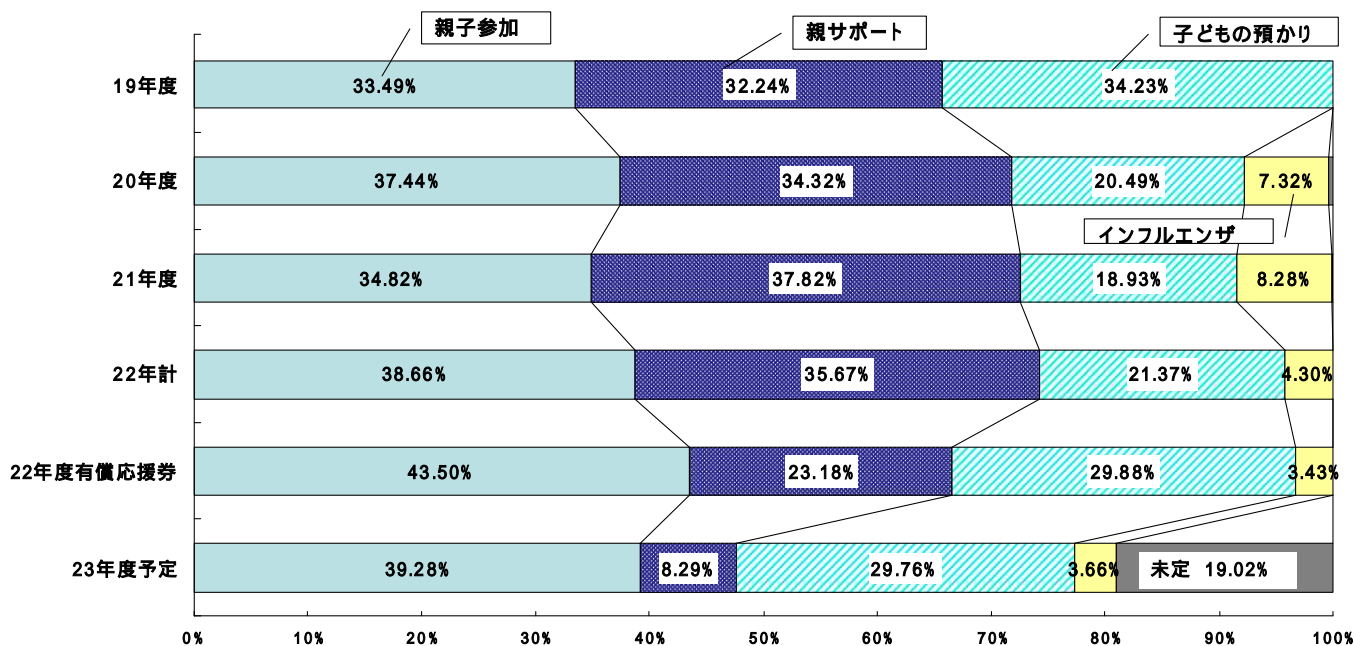
(2) (1)以外の就学前児童の家庭で利用が多いサービス

区民一般での子育てを応援するために必要と考える方の割合が高くはありません。一方で、有償制への転換に伴い、利用が増加する傾向が見られます。

また、鍼灸マッサージサービスの廃止、有償制への転換などにより、親子がともに参加するサービスの利用割合が増加する傾向にあります。サービスごとの主な傾向は次ページのとおりです。

鍼灸マッサージサービスの廃止後、有償化への転換も相まって、親子参加のサービスの利用割合が増加する傾向にあります。

【応援券のサービス別利用状況】



サービス別（6区分）の傾向は以下表のとおりです。

1	子どもを預かるサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・0～5歳児のいずれの年齢の子どもの家庭においても、利用されている。 ・利用者から「子育ての不安が解消された」「子育てに自信やゆとりを持てるようになった」との声が多い。 ・区民意向調査において、応援券事業の対象とすることが適当と考える者の割合が49.1%と高い。
	<ul style="list-style-type: none"> ・保育施設、幼稚園での一時保育 など 	
2	産後のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・出生時の無償応援券の利用の40%が母乳育児相談となっている。 ・子育ての不安解消に寄与しているが、平成22年度の利用実績では、無償応援券の利用額全体に占める割合に比べ、有償応援券の利用額全体に占める割合は減少している。 ・区民意向調査において、応援券事業の対象とすることが適当と考える者の割合が30.1%と高い。
	<ul style="list-style-type: none"> ・母乳育児相談 ・産後の日常生活のお世話 など 	
3	親サポートのサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの見直しや有償制への転換により、サービスの大幅な利用減が見込まれる分野である。 ・家事援助は、保育園に通園している子どもの家庭での利用が多い。 ・区民意向調査において、応援券事業の対象とすることが適当と考える者の割合が34.2%と高い。
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談・講座 ・家事援助など 	
4	親子の集いサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域に知り合いや仲間ができた」地域のサービスを知るきっかけとなった」との声が多い。 ・子育て家庭当事者によるグループなど、任意団体によるサービスの提供が多い。
	<ul style="list-style-type: none"> ・集いの場やプログラムの提供など 	
5	親子で体験するサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・応援券事業の開始以降サービス提供が増加した分野である。有償制に伴い、全体の利用額に占める割合が大きく増えており、今後も、利用増が見込まれる。 ・利用者の声から、「地域に知り合いが増えた」とあわせて「子どもの成長がうれしい」との声が多い。 ・一部の親子参加サービスで、一人当たり平均利用額が大きくなっている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で外国語・音楽・料理体験 ・リトミック ・幼稚園での体験等 	
6	親子で鑑賞・イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の声として、外出して親子で楽しむきっかけとなったとの回答が多いが、地域とつながるきっかけとなったとの回答が少なく、家族同士の交流は少ない。 ・サービスの提供場所は、区外の事業者が多い。
	<ul style="list-style-type: none"> ・親子コンサート ・季節のイベント ・特定施設でのイベントなど 	

サービス区分(6区分)ごとの状況

- ・事業開始当初から子どもを預かるサービスの利用は定着しています。
- ・有償制への転換に伴い、親子体験講座の利用が大きくなっています。
- ・親サポート・産後のサービスに区分されていた鍼灸マッサージ・民間療法のサービスの廃止により、親を対象とした親サポートのサービスでは、大幅な利用減が見込まれます。
- ・出生時の応援券の72%が、産後のサービスに利用されています。

【利用実績(サービス分野別)】

		19年度	20年度	21年度	22年度			
					計	応援券(無償)	応援券(有償)	出生時
子どもを預かるサービス		34.2%	20.5%	18.9%	21.4%	20.8%	29.9%	3.9%
親サポート	産後のサービス	17.8%	14.1%	14.7%	13.7%	13.8%	9.0%	72.0%
	親サポートのサービス	14.4%	20.3%	23.2%	22.0%	22.6%	14.2%	21.3%
	小計	32.2%	34.3%	37.8%	35.7%	36.4%	23.2%	93.4%
親子参加	親子の集いの場	1.4%	1.2%	1.9%	2.2%	2.2%	2.4%	0.6%
	親子で体験講座	19.6%	27.5%	25.2%	29.0%	28.4%	38.3%	1.7%
	親子で鑑賞・イベント	12.5%	8.8%	7.8%	7.5%	7.9%	2.8%	0.4%
	小計	33.5%	37.4%	34.8%	38.7%	38.4%	43.5%	2.7%
インフルエンザ予防接種			7.3%	8.3%	4.3%	4.4%	3.4%	0.0%
サービス分類不明		0.0%	0.4%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

単位 億円

総額	2.32	8.03	9.61	7.81	7.21	0.58	0.03
----	------	------	------	------	------	------	------

【事業者状況(サービス分野別)】

		事業者数	区内事業者の割合	任意団体の主体の事業者の割合
子どもを預かるサービス		128	47.7%	4.7%
親サポート	産後のサービス	115	44.3%	12.2%
	親サポートのサービス	364	67.6%	15.7%
	小計	479	62.0%	14.8%
親子参加	親子の集いの場	108	75.0%	34.3%
	親子で体験講座	487	69.8%	22.2%
	親子で鑑賞・イベント	167	56.9%	34.7%
	小計	762	67.7%	26.6%
インフルエンザ予防接種		1	100.0%	0.0%
事業者数		1,370	875	280

・「親子集いの場」、「親子で鑑賞・イベント」のサービスは、子育て家庭当事者によるグループなど、任意団体によるサービスの提供が多くなっています。

・派遣型サービスの登録の多い「子どもを預かるサービス」「産後のサービス」や、「親子で鑑賞・イベント」は区外事業者によるサービスの提供が多くなっています。

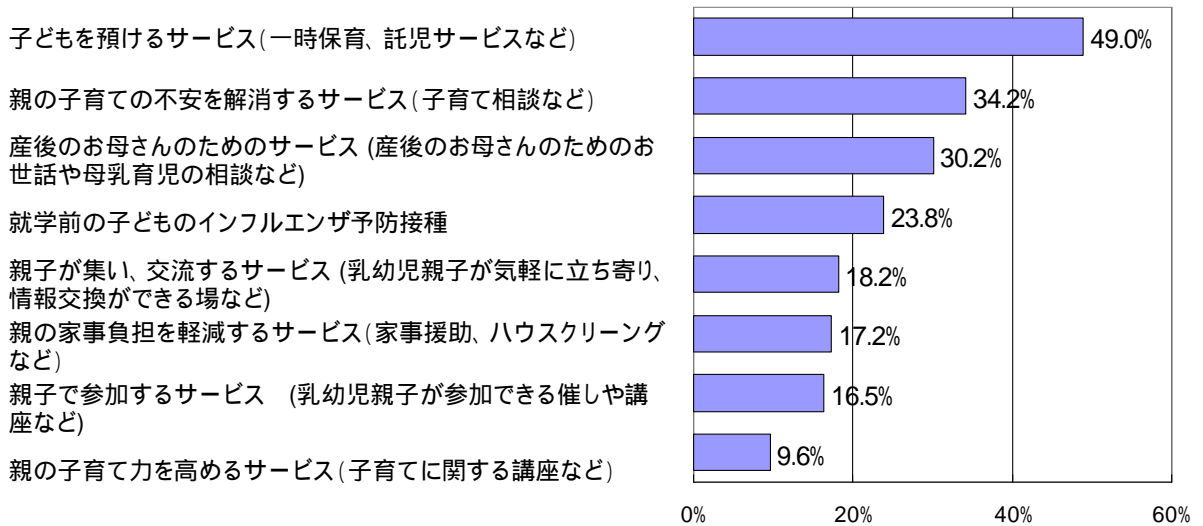
応援券サービスに対する区民の意識

子どもを預けるサービス、親の子育て不安を解消する子育て相談、産後のサービスなどを、応援券事業の対象とすることが適当と考える区民の割合が高くなっています。

「現在応援券を利用できる次のサービスのうち、子育てを応援するうえで特に必要と思われるサービスは何か」という設問に対する回答。

(「区民意向調査」(17～22年度、23年度は速報値)より)

子育てを応援するうえで特に必要と思われるサービスに をつけてください。(は3つまで)



▶ 年代別の回答

選択項目	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無記入
子どもを預けるサービス (一時保育、託児サービスなど)	49.0%	35.7%	55.5%	69.1%	58.0%	41.6%	39.2%	29.7%	9.5%
親の子育ての不安を解消するサービス (子育て相談など)	34.2%	50.0%	39.0%	36.7%	33.5%	33.7%	37.0%	25.5%	9.5%
産後のお母さんのためのサービス (産後のお母さんのためのお世話 や母乳育児の相談など)	30.1%	28.6%	32.9%	39.6%	34.0%	31.9%	20.6%	20.7%	19.0%
就学前の子どものインフルエンザ 予防接種	23.8%	28.6%	28.1%	37.7%	32.5%	15.1%	13.2%	13.8%	4.8%
親子が集い、交流するサービス (乳幼児親子が気軽に立ち寄り、 情報交換ができる場など)	18.2%	14.3%	22.6%	15.0%	14.0%	18.7%	24.9%	17.2%	4.8%
親の家事負担を軽減するサービス (家事援助、ハウスクリーニングな ど)	17.2%	21.4%	16.4%	27.5%	25.0%	15.7%	7.9%	7.6%	4.8%
親子で参加するサービス (乳幼児親子が参加できる催しや 講座など)	16.5%	7.1%	19.2%	25.6%	16.5%	15.1%	11.6%	11.0%	4.8%
親の子育て力を高めるサービス (子育てに関する講座など)	9.6%	21.4%	10.3%	7.2%	10.0%	7.8%	12.2%	10.3%	0.0%
わからない・無回答	25.1%	14.3%	15.8%	7.7%	12.5%	31.3%	34.4%	48.3%	95.2%
全 体(回答者人数)	1088	14	146	207	200	166	189	145	21

子どもの状況別サービスの利用状況

(利用者アンケート・有償対象より)

子どもを預かるサービスは、子どもの状況にかかわらず、利用は高くなっています。

未就園の子どものいる家庭は母乳育児相談、保育園に通園している子どものいる家庭は、家事援助・ハウスクリーニング、幼稚園に通園している子どものいる家庭は、親子で音楽体験の利用が高くなっています。

	未就園 (回答者数226人)		保育園 (回答者数241人)		幼稚園 (回答者数334人)	
1	ひととき保育・保育施設などでの一時保育	21.6%	産後の母への整体などの民間療法	10.6%	ひととき保育・保育施設などでの一時保育	23.4%
2	産後の母への整体などの民間療法	9.1%	子育て中の親への国家資格者による施術	10.2%	親子で音楽体験	11.7%
3	母乳育児相談	8.3%	ひととき保育・保育施設などでの一時保育	9.3%	親子でリトミック	9.9%
4	親子でリトミック	7.9%	家事援助・ハウスクリーニング	8.4%	幼稚園での一時保育・一時預かり	9.0%
5	親子でからだを動かす講座	7.9%	母乳育児相談	8.0%	親子で外国語体験	4.5%

子どもの年齢別サービス利用状況

(利用者アンケート・有償対象より)

子どもを預かるサービスは、0～5歳児のいずれの年齢の子どもの家庭においても、利用される割合が高くなっています。

0・1歳児の年齢の子どもの家庭においては、母乳育児相談、1・2歳児の年齢の子どもの家庭においてはリトミック、3～5歳児の年齢の子どもの家庭においては親子で音楽体験の利用される割合が高くなっています。

【22年度の応援券利用実績(サービス別)】

単位 万円

22年度支払総額			
1	子育て中の親への健康相談と国家資格者の提供する施術	14.49%	11,324
2	ひととき保育など保育施設での一時保育	12.61%	9,856
3	親子で音楽体験	8.39%	6,553
4	産後の母へのカイロ・整体師などによる民間療法	6.65%	5,198
5	リトミック	5.83%	4,558
6	母乳相談・育児相談等	4.64%	3,626
7	親子でからだを動かす講座	4.32%	3,376
8	インフルエンザ予防接種	4.30%	3,357
9	自宅での託児サービス	4.08%	3,186
10	親子で外国語体験	3.90%	3,048

▶▶年齢別

	0歳児 7,523万円		1歳児 26,081万円		2歳児 17,111万円	
1	母乳相談・育児相談等	19.56%	ひととき保育など保育施設での一時保育	17.03%	ひととき保育など保育施設での一時保育	15.39%
2	ひととき保育など保育施設での一時保育	12.73%	子育て中の親への健康相談と国家資格者の提供する施術	13.13%	子育て中の親への健康相談と国家資格者の提供する施術	13.37%
3	子育て中の親への健康相談と国家資格者の提供する施術	12.13%	産後の母への民間療法	9.40%	親子で音楽体験	9.15%
4	産後の母への民間療法	11.92%	リトミック	7.54%	リトミック	8.76%
5	自宅での託児サービス	4.77%	母乳相談・育児相談等	6.53%	産後の母への民間療法	5.99%

	3歳児 10,625万円		4歳児 7,613万円		5歳児 9,196万円	
1	子育て中の親への健康相談と国家資格者の提供する施術	15.94%	子育て中の親への健康相談と国家資格者の提供する施術	15.58%	子育て中の親への健康相談と国家資格者の提供する施術	19.79%
2	親子で音楽体験	13.34%	親子で音楽体験	14.63%	幼稚園での一時保育	9.45%
3	ひととき保育など保育施設での一時保育	9.29%	幼稚園での一時保育	8.74%	親子で音楽体験	8.94%
4	幼稚園での一時保育	6.44%	インフルエンザ予防接種	6.05%	観劇・人形劇・ミュージカル	7.61%
5	インフルエンザ予防接種	5.03%	ひととき保育など保育施設での一時保育	5.97%	ものづくりの親子講座	7.57%

サービスを利用した理由

・サービスを利用する理由別でみると、「子育てに悩んでいる」「子育てのヒントになる話が聞きたい」は、無償制では「母乳育児相談」が多くなっていましたが、有償制になってからはその理由での利用は減少しています。

・「子どもと一緒に出かけたり、楽しい体験をしたい」はで鑑賞事業や各種イベントが、有償制でも無償制でも多くなっています。

・「子どもに何か身につけさせたかった」では、「親子で音楽体験」「親子で外国語体験」などの親子で体験する講座が多くなっています。

・「子育て中の親同士、地域の人とのつながりがほしかった」は、無償制では「産後の母へのフィットネスなど」「親子の集いの場」が多くなっていましたが、有償制では「リトミック」「親子で体を動かす講座」が多くなっています。

・「応援券が利用でき、自分の支払いが少なくてすむ」では、インフルエンザ予防接種が有償制でも無償制でも8割を超えています。

22年度の無償応援券と23年度の有償応援券別のサービスを利用(予定)する理由についての回答。上位5サービス (利用者アンケート・有償対象より)

		10以上回答のあったもののみ									
		子育てに悩んでいたから			子育てのヒントになるような話を聞きたかったから			子どもと一緒に出かけたり、楽しいことを体験したかったから			
22年度無償応援券	1	母乳育児相談	22	18.8%	母乳育児相談	26	22.2%	施設などでのイベント	37	41.1%	
	2				ベビーマッサージ・食育講座	25	16.8%	人形劇・コンサートなど鑑賞事業	92	40.5%	
	3				その他の親子講座	11	6.8%	親子でからだを動かす講座	62	31.6%	
	4							ものづくりの親子講座	34	31.5%	
	5							親子でリトミック	89	30.3%	
23年度有償応援券	1							人形劇・コンサートなど鑑賞事業	85	47.8%	
	2							バスハイク・季節のイベント	12	46.2%	
	3							施設などでのイベント	30	40.5%	
	4							ものづくりの親子講座	40	35.1%	
	5							親子でリトミック	59	32.4%	
		子どもに何か身につけさせたかったから			子どもに家庭以外の場所を体験させたかったから			子育て中の親同士、地域の人とのつながりがほしかったから			
22年度無償応援券	1	親子で外国語体験	36	27.7%	親子の集いの場	11	15.9%	産後の母のフィットネス、ヨガなど	22	22.9%	
	2	親子で音楽体験	63	25.7%	ひととき保育・保育施設などでの一時保育	69	15.4%	親子の集いの場	13	18.8%	
	3	親子でリトミック	43	14.6%	親子でリトミック	42	14.3%	ベビーマッサージ・食育講座	21	14.1%	
	4	親子でからだを動かす講座	28	14.3%	親子で音楽体験	34	13.9%	その他の親子講座	20	12.4%	
	5	その他の親子講座	20	12.4%	幼稚園での一時保育・一時預かり	11	12.8%	親子でからだを動かす講座	19	9.7%	
23年度有償応援券	1	親子で外国語体験	48	33.8%	幼稚園での体験型保育	17	29.3%	親子でからだを動かす講座	16	8.7%	
	2	親子で音楽体験	77	29.5%	施設などでのイベント	14	18.9%	親子でリトミック	14	7.7%	
	3	親子でからだを動かす講座	38	20.5%	親子でリトミック	25	13.7%				
	4	親子でリトミック	36	19.8%	親子でからだを動かす講座	25	13.5%				
	5	ものづくりの親子講座	22	19.3%	ものづくりの親子講座	15	13.2%				

		子どもにお友達をつくりたかったから		応援券が利用でき、自分の支払いが少なくてすむと思ったから			応援券でサービスを試しに利用してみたかったから			
22年度無償応援券	1	幼稚園での一時保育・一時預かり	11	12.8%	インフルエンザ予防接種	205	84.7%	子育て中の親への国家資格者による施術	37	25.7%
	2	親子でリトミック	30	10.2%	産後の母への整体などの民間療法	99	52.7%	産後の母への整体などの民間療法	47	25.0%
	3	親子で外国語体験	10	7.7%	子育て中の親への国家資格者による施術	67	46.5%	家事援助・ハウスクリーニング	23	21.9%
	4	親子で音楽体験	17	6.9%	家事援助・ハウスクリーニング	48	45.7%	母乳育児相談	13	11.1%
	5	親子でからだを動かす講座	13	6.6%	自宅での託児サービス	23	44.2%	その他の親子講座	11	6.8%
23年度有償応援券	1	幼稚園での体験型保育	18	31.0%	インフルエンザ予防接種	181	87.9%	家事援助・ハウスクリーニング	14	17.3%
	2	親子の集い場	11	19.6%	家事援助・ハウスクリーニング	47	58.0%			
	3	幼稚園での一時保育・一時預かり	13	9.4%	母乳育児相談	17	54.8%			
	4	親子でリトミック	16	8.8%	病児・病後児保育、その他の一時保育	22	47.8%			
	5	親子で音楽体験	22	8.4%	自宅での託児サービス	26	41.9%			

22年度無償応援券を利用した感想・サービス別（利用者アンケート・有償対象より）

- ・サービスを利用した感想別でみると、「子育ての不安が解消された」「子育てに自信やゆとりを持てるようになった」という利用者の感想は、子どもを預かるサービスで多くなっています。
- ・子育ての不安が解消されたという割合が、「母乳育児相談」などの産後のサービスで多くなっています。
- ・「地域に知り合いや仲間ができた」地域のサービスを知るきっかけとなった」との声が、親子参加の集いのサービスで多くなっています。
- ・「地域に知り合いが増えた」とあわせて「子どもの成長がうれしい」との声が親子で体験する講座で多くなっています。
- ・人形劇・コンサートなどの鑑賞事業は「家族と一緒に過ごすきっかけになった」との回答が多くなっていますが、地域とつながるきっかけとなったとの回答が少なく、家族同士の交流は少なくなっています。

子育ての不安が解消された		子どもの成長がうれしかった		子育てに自信やゆとりを持てるようになった		地域に知り合いや仲間ができた		
1	母乳育児相談	21.0%	親子で外国語体験	30.8%	ひとき保育・保育施設などでの一時保育	15.8%	親子の集い場	21.2%
2	ベビーマッサージ・食育講座	8.9%	親子で音楽体験	30.6%	母乳育児相談	12.2%	親子でリトミック	19.5%
3	ひとき保育・保育施設などでの一時保育	3.0%	親子でリトミック	29.8%	ベビーマッサージ・食育講座	11.0%	ベビーマッサージ・食育講座	18.5%
4			親子でからだを動かす講座	22.5%	幼稚園での一時保育・一時預かり	9.6%	産後の母のフィットネス、ヨガなど	18.4%
5			その他の親子講座	18.7%	子育て中の親への国家資格者による施術	9.4%	親子でからだを動かす講座	18.3%

育児または家事の負担が軽減された		家族と一緒に過ごすきっかけになった		地域のサービスを知るきっかけになった		応援券で支払うことができたから、利用できた		
1	家事援助・ハウスクリーニング	36.1%	人形劇・コンサートなど鑑賞事業	28.2%	親子の集い場	18.2%	インフルエンザ予防接種	46.4%
2	幼稚園での一時保育・一時預かり	28.9%	施設などでのイベント	27.4%	ベビーマッサージ・食育講座	11.0%	子育て中の親への国家資格者による施術	35.0%
3	自宅での託児サービス	26.2%	ものづくりの親子講座	9.0%	親子でからだを動かす講座	10.0%	産後の母への整体などの民間療法	31.1%
4	ひとき保育・保育施設などでの一時保育	25.2%	その他の親子講座	6.5%	人形劇・コンサートなど鑑賞事業	5.6%	施設などでのイベント	28.4%
5	産後の母への整体などの民間療法	13.6%	親子でからだを動かす講座	5.8%	産後の母への整体などの民間療法	4.7%	自宅での託児サービス	26.2%

(2) 事業者別の利用状況

事業者業種別の実績

19年度の事業開始当初は、一時保育実施事業者が上位10事業者に多く含まれていましたが、22年度は音楽教室が多くなっています。

【利用額の多い事業者業種別 上位10(年度別)】

22年度

順位	事業者名	提供事業内容	利用総額
1	親子・親講座	親子で体験講座・産後を中心としたサービス・子育て講座	2,129
2	母乳育児相談室	産後を中心としたサービス	1,628
3	鍼灸院	子育て相談	1,484
4	音楽教室	親子で体験講座	1,444
5	一時保育	特定の場所での一時保育(ひととき保育)	1,405
6	音楽教室	親子で体験講座	1,100
7	音楽教室	親子で体験講座	1,087
8	鍼灸院	子育て相談	951
9	一時保育	特定の場所での一時保育(ひととき保育)	915
10	民間療法	産後を中心としたサービス	910

21年度

単位 万円

順位	事業者名	提供事業内容	利用総額
1	音楽教室	親子で体験講座	1,830
2	鍼灸院	子育て相談	1,776
3	親子・親講座	親子で体験講座・産後を中心としたサービス・子育て講座	1,501
4	一時保育	特定の場所での一時保育(ひととき保育)	1,494
5	音楽教室	親子で体験講座	1,440
6	民間療法	産後を中心としたサービス	1,295
7	音楽教室	親子で体験講座	1,255
8	鍼灸院	子育て相談	1,252
9	母乳育児相談室	産後を中心としたサービス	1,172
10	母乳育児相談室	産後を中心としたサービス	1,063

20年度

順位	事業者名	提供事業内容	利用総額
1	親子・親講座	親子で体験講座・産後を中心としたサービス・子育て講座	2,418
2	音楽教室	親子で体験講座	2,210
3	親子イベント	親子参加のイベント	1,844
4	母乳育児相談室	産後を中心としたサービス	1,348
5	音楽教室	親子で体験講座	1,344
6	一時保育	特定の場所での一時保育(ひととき保育)	1,307
7	音楽教室	親子で体験講座	1,270
8	劇団	親子で鑑賞事業	1,192
9	鍼灸院	子育て相談	1,165
10	音楽教室	親子で体験講座	1,087

19年度

単位 万円

順位	事業者名	提供事業内容	利用総額
1	親子イベント	親子参加のイベント	1,093
2	母乳育児相談室	産後を中心としたサービス	858
3	母乳育児相談室	産後を中心としたサービス	852
4	一時保育	特定の場所での一時保育(ひととき保育)	826
5	親子・親講座	親子で体験講座・産後を中心としたサービス・子育て講座	774
6	一時保育	特定の場所での一時保育(子育てサポートセンター5カ所)	688
7	一時保育	特定の場所での一時保育(ひととき保育)	560
8	音楽教室	親子で体験講座	536
9	一時保育	自宅での託児サービス(ファミリーサポートセンター)	462
10	一時保育	特定の場所での一時保育	394

	音楽教室
	一時保育
	母乳育児相談室

利用者一人当たりの平均利用金額

親子で体験講座は、年間の1人あたりの平均利用額が3万円を超える講座が多いなど、1人あたりの年間平均利用額が大きくなっています。

【1人あたりの年間平均利用額】 22年度サービス分野ごとに利用の多かった事業者

単位 円

区分	事業者 (各分野請求金額上位)	提供しているサービス	総額	1人あたり 平均利用単価
親子参加	親子・親講座	親子でリトミック(外6)	21,286,000	35,242
	音楽教室 A	親子でリトミック	10,866,500	40,852
	音楽教室 B	親子で音楽体験	11,004,000	34,068
	英語教室	親子で外国語	6,364,000	30,744
	スポーツ教室	親子で身体を動かす講座(外2)	7,208,500	26,308
	イベント施設	特定場所でのイベント	8,632,500	8,818
親サポート	母乳育児相談室	母乳育児相談(外1)	16,266,000	20,181
	産後ケア	産後の日常生活のお世話(外2)	3,083,500	18,802
	家事代行サービス	家事援助	2,494,500	28,028
	ハウスクリーニング	ハウスクリーニング(外1)	5,627,000	17,530
子供を預かる	ひととき保育	ひととき保育など一時保育	14,036,000	16,931
	幼稚園	幼稚園での一時保育(外1)	5,804,000	15,194

【応援券の利用実績、アンケートなどで集計の際に利用しているサービス区分】

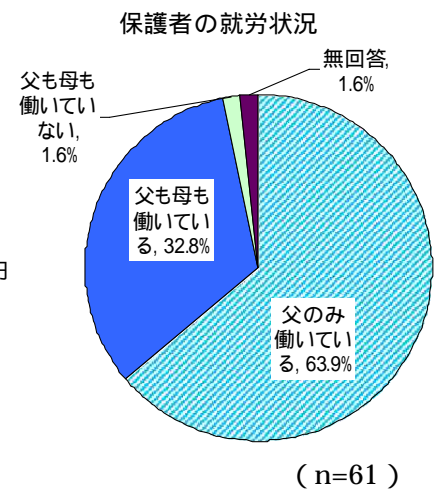
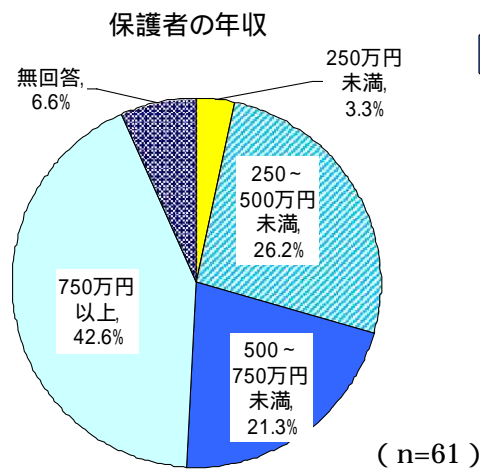
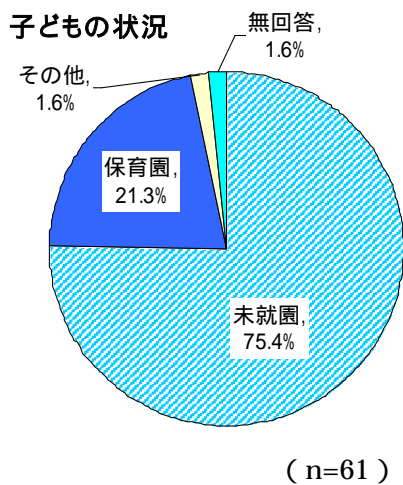
4区分	6区分 (今回の見直し用)	13区分	アンケートで利用した区分
子どもを預かるサービス	子どもを預かるサービス	特定の場所での保育	23ひととき保育・保育施設などでの一時保育 24幼稚園での一時保育・一時預かり 25病児・病後児保育、その他一時預かり
		イベントなどの託児サービス	26イベントなどの託児サービス
		自宅での託児サービス	27自宅での託児サービス
		幼稚園での体験型保育	28幼稚園での体験型保育
親をサポートするサービス	産後のサービス	産後を中心とした支援	11母乳育児相談 12産後の母のフィットネス・ヨガなど 13産後の日常生活のお世話
	親サポートのサービス	家事援助	14家事援助・ハウスクリーニング
		子育て相談	15子育て相談・カウンセリング 19子どもの口腔ケアの健康相談とフッ素塗布 22子どもの健康相談と小児はり
		子育て講座	16子育て講座・講演会 17ベビーマッサージ・食育講座 18その他の子育てサポート講座
	23年度廃止したサービス		20子育て中の親への国家資格者による施術 21産後の母への整体などの民間療法
親子で参加するサービス	親子の集いサービス	親子の集いの場	8親子のつどいの場 (場の提供、プログラムの提供)
	親子で体験する講座	親子で体験講座	2親子でリトミック 3親子で外国語体験 4親子で音楽体験 5ものづくり親子講座 6親子でからだを動かす講座 7その他の親子講座 (親子でクッキング、自然体験の親子講座、幼稚園の親子講座を含む)
	親子で鑑賞・イベント	親子で鑑賞事業	1人形劇・コンサートなど鑑賞事業
		親子参加のイベント	9バスハイク・季節のイベント 10乳幼児の楽しめる施設などでイベント
インフルエンザ			29インフルエンザ予防接種

5 出生時応援券についての検証

利用者アンケート・出生無償でも「サービスを知ったり、利用したりするきっかけになっている」と、「思う」「やや思う」と回答する者の割合が93.4%と高くなっています。

出生時は、出産後育児や身の回りのことに追われ、無償の応援券を利用できないでいる人も多く、有償制を購入した人でも、利用するサービスがまだ決まっていない人の割合が有償制の調査に比べ多くなっています。

出生時応援券交付者の家庭状況 (利用者アンケート・出生無償対象より)

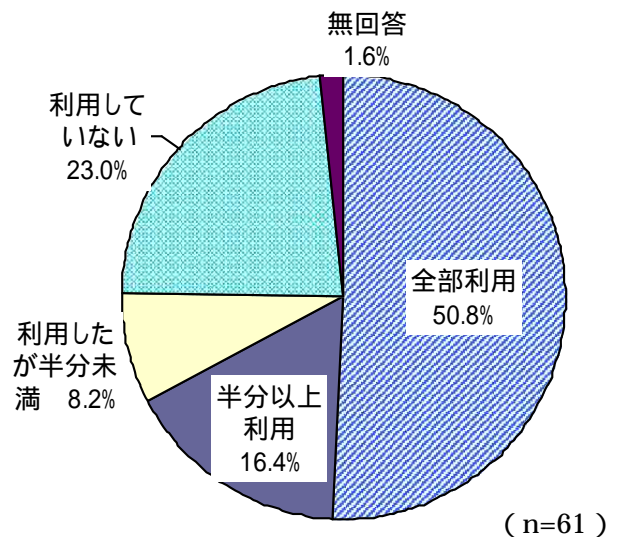


出生时无償応援券の利用状況 (利用者アンケート・出生無償対象より)

出生時の無償応援券を利用していない理由

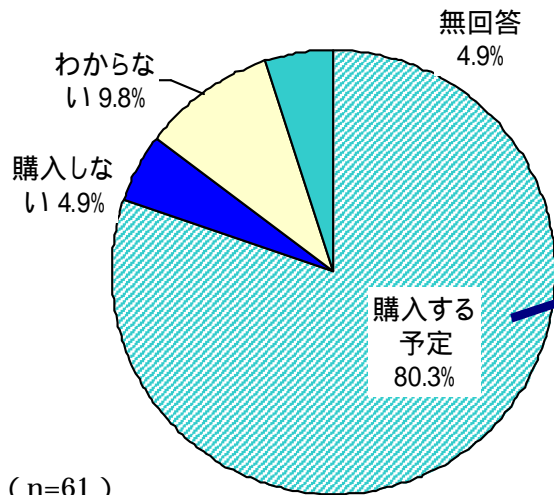
出産後育児や身の回りのことに追われ、利用できなかった	45.5%
どのようなサービスに利用してよいかわからない	13.6%
これから利用する予定がある	22.7%
利用したいサービスがない	9.1%
その他	9.1%
	100%

(n=22)



23年度有償応援券の購入予定状況

(利用者アンケート・出生無償対象より)



23年度有償応援券購入割合

100%	46.9%
50%以上	24.5%
50%未満	24.5%
無回答	4.1%
	100%

(n=49)

利用予定のサービス

利用予定のサービス	割合
全部決まっている	8.2%
半分以上決まっている	27.9%
決まっているのは半分未満	16.4%
まだわからない	24.6%
無回答	23.0%

(n=61)

購入しようと考えた理由

プレミアムが付いているから	44.0%
これからサービスを利用してみたいから	36.0%
交付時期が決まっているので、とりあえず購入した	17.3%
その他	2.7%

(n=75)

無償応援券交付に対する意識

「出生時の応援券は、サービスを知ったり、利用したりするきっかけになっていると思いますか」という設問に対する回答。(利用者アンケート・出生無償対象より)

